



台風15号で被災された方々にお見舞い申し上げます。

全建総連は、国交省・住宅局から台風15号で被災した住宅の復旧ボランティア活動への支援要請を受け、首都圏の仲間ボランティア活動への協力を呼びかけ、9月21日、23日、28日に実施しました（22日と29日は雨天の天気予報のため中止）。活動の一部を報告します。

【9月21日】大網白里市、市原市で活動

千葉市の東隣に位置し九十九里海岸に面する大網白里市と、千葉市の南に位置し東京湾に面する市原市での活動を行いました。22日は雨天の予報を受けて中止しました。

3～6人で班を編成し、ボランティアセンターでブルーシートや土のう等を各車両へ積み込み、ボランティアセンターから渡された補修希望者に連絡を取った上で訪問、作業を行いました。

◇大網白里市 参加21人（茨城県連1、東京都連14、千葉土建4、全建総連2）

市ボランティアセンターの要請にもとづき、屋根のブルーシートかけを中心に、15件の復旧ボランティアを実施しました。



朝礼で田口書記次長が行動の趣旨を説明した

◇市原市 参加30人（埼玉土建2、千葉土建8、神奈川県連19、全建総連1）

市ボランティアセンターの要請にもとづき、17件の復旧ボランティアを実施しました。

主な作業内容は、ズレた瓦を直す、割れたり落下した瓦の部分にブルーシートをかけるなどでした。足場を組んで専門職に任せるべき被災住宅も見受けられました。

被災された居住者に対しては「ブルーシートはあくまで応急処置で、地元の工務店や瓦工事業者

に修理依頼を」とアドバイスしました。

家主からは「大変ありがたい」「『もう大丈夫』の声を聞くことができ安心できた」など、喜んでいただきました。

【9月23日】大網白里市、市原市で活動

◇大網白里市 参加13人（東京都連3、千葉土建10）

21日に続き、午前中に7件の復旧ボランティアを実施しました。市民からの要望はほぼ終了となりました。

◇市原市 参加74人（茨城県連1、建設埼玉2、埼玉土建5、東京都連22、千葉土建12、神奈川県連24、全建総連3、一般参加1）

23件の復旧ボランティアを実施しました。午後から風が強くなり、早めの終了となりましたが、参加人数が多かったため、23件の活動ができました。

【9月28日】南房総市、館山市で活動

2日間の活動経験をふまえ、ブルーシートを止めつけるゴム系防水テープと土のうを固定するPPロープを全建総連で購入し、千葉土建にご協力いただき活動拠点への運搬をお願いしました。28日は県南部の南房総市と館山市で活動。29日は雨天との予報を受けて活動は中止しました。

◇南房総市 参加33人（埼玉土建8、千葉土建8、神奈川県連15、全建総連2）

10件の復旧ボランティアを実施しました。以下は、西総務部長の報告です。

私たちの班が向かった1件目は、1920年代に建てられた住宅。屋根瓦が落ち、雨漏りもしている状態でした。親綱を張るなど安全対策を実施し、ブルーシートを張る作業を開始。落ちた瓦を元に戻すなど、専門職ならではの判断で、応急措置を実施。家主からは「日数が経って、雨漏りによる異臭がひどく困っていた。本当に助かった」と感謝の言葉がありました。



2件目は、高齢夫婦のお宅で、屋根のトタンが強風によりはがれてしまっていました。これを元に戻して、防水テープでとめて、作業は終了。家主からは「家を建てた工務店に電話をするともう

廃業しており、地元の業者にあたっては、順番待ちでいつになるか分からない」と話があり、当該地域の組合事務所の電話番号を伝えました。

◇館山市 参加 22 人（茨城県連 1、東京都連 13、千葉土建 5、全建総連 3）

13 件の復旧ボランティアを実施しました。



館山市那古での活動の様子です。切妻屋根の西側で瓦のズレと破損、東側は瓦が 10 枚以上破損・落下していました。被害の大きい東側はブルーシートを張りました。棟瓦は南端で被害がありシートで覆いました。この他には、トタン屋根の一部がはがれた被害の復旧、軒瓦が落下した被害の復旧などに取り組みました。



ブルーシートが張られた家が多い（鋸南町）

【千葉県連が東金市の要請を受けて活動】

千葉県からの要請を受け、千葉県連は 9 月 26 日、30 日に東金市でブルーシート張りのボランティアを実施しました。10 月 4 日も活動する予定です。

【今後の予定】

10 月 5 日（土）、6 日（日）の両日に、館山市、袖ヶ浦市で活動の予定です。